

第三者研究会での意見の概要及び意見に対する対応状況

1．第三者研究会の名称　次世代マルチモーダルITS委員会（メンバー及び開催状況別紙）	
2．第三者研究会での意見の概要及び対応	
意見の概要	意見に対する対応状況
<p>通信ユニットをハブ的な扱いにして通信部と操作部とを2つに分けた設計は妥当であり、今後の発展につながる方向である。</p> <p>通信ユニットのサイズは鞆等にしまっておくので、多少大きくても良いとして、実際に操作する表示ユニットのサイズを抑える必要がある。</p> <p>ノートPCユーザーの利用も考慮し、大容量のハードディスクを搭載することは有効だと思われる。</p> <p>文字のみで情報を伝えるには限界がある。音声と文字の情報提供を考える必要あり。</p> <p>情報提供サービスについては、1つのセンターを経由して出すのではなく、コンテンツ毎に役目を割り当て、いろんな所から受けられるようにする事ができないか。</p> <p>ICタグの利用も視野に入れ、実際の行動と情報提供が連動するような仕組みが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の課題として記述した。 ・ 将来の課題として記述した。 ・ 将来の課題として記述した。 ・ 都市複合端末は複数の無線通信に対応しており、複数のセンターから、様々な無線通信で情報が受けられる設計になっている。 ・ 将来の課題として記述した。